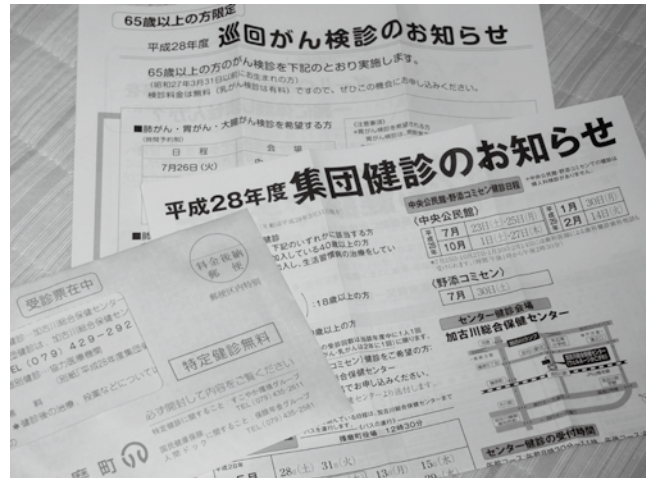


委員会では議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。なお、詳しい内容については播磨町議会ホームページに掲載しています。



▲早期発見で健康な毎日を

■4月28日開催
国保健康事業実施計画
 効果的で効率的な保健事業の実現に向け、データヘルス計画を策定。
 ①レポートと特定健診などのデータ分析をして、効果的な対応をするための計画を立てる。
 ②保険加入者の状況は39

歳以下は低く、65歳から74歳の加入率が高い割合を占める。
 ③主要死因はがんが36%で最も多く、心疾患、肺炎、脳血管疾患の順となる。予防することが重要である。
 ④医療費の状況は、生活習慣病が37%で、年々上がっている傾向にある。

⑤ 特定健診受診率は約30%、特定保健指導利用率は25%で、今後も受診する事が大切である。
⑥ 重症化予防では、入院外の虚血性心疾患群や脳血管疾患群など、患者数の削減が求められる。
⑦ 未受診者勧奨を行う。
【主な質疑応答】
問 受診率が低いのが受けやすい環境づくりは。
答 検診回数を増やして総合的な検診ができるような体制にしている。

■5月25日開催
修工事について
 ▼播中北校舎他トイレ改修工事について
 ▼西小屋内運動場大規模改造工事について

厚生教育

医療費適正化の推進を

■5月12日開催
防災倉庫の現況を視察
 台風シーズンを前に町内4カ所の防災倉庫を回り、資機材や非常食の備蓄状況などを視察した。
【主な質疑応答】
問 鍵の管理状況は。
答 消防播磨分署倉庫は

分署で、北池旧倉庫は地元自治会で保管。北池新設倉庫と土山駅南ガードンプラザは町が管理。
問 非常用飲料水の備蓄状況は。
答 浄水場に給水タンクを備え付けており、そこから配布する。今後、道路の寸断などに対する検

討が必要。
問 備蓄資機材などの分配はどうか。
答 今後、各小中学校と播磨、蓮池幼稚園の8カ所に防災倉庫を整備し、資機材や食料を備蓄する。
熊本地震への支援状況
 災害支援本部会議を4回開催。義援金や支援物資、人的支援や職員派遣などを協議。義援金箱を町内の主な公共施設に設置した。



▲消防播磨分署の倉庫を視察

5月11日から8日間、熊本県益城町に職員1人を派遣し、避難所運営業務などに従事している。

支援物資の用意はしているが、現在、要請はしていない。

総務建設

防災拠点を現地調査

積極的なシティセールスを

町長 **A** PR映像など活用する

問 都市間競争が過熱する中で、住民や企業から選ばれる自治体になることが必要だ。そのために町の魅力を適切に伝える努力が不可欠である。シティセールス推進の目標や方法をどのように考えるのか。
答 播磨町で働きたい、住みたい、子育てしたい、住み続けたいと誰もが思うまちづくりを目指しており、これを感じられるイメージづくりとまちの魅力度アップを図ることが目標である。町の魅力

や良さを認知してもらい、関心や憧れを持ってもらえるようPR映像やポスター、町施策のPR冊子を作成して、活用しながら推進を図っている。
問 町独自の婚姻届出書を作成したり、PR大使を任命するなど積極的にPRを図るべきでは。
答 町独自の届出書は、現在考えていない。PR大使も有効と思うが、まずは本町出身で歴史上の偉人であるジョセフ・ヒコの偉大さを世に広め、町のPRにつなげたい。
公契約条例の必要性は
浅原 理事 全国一律に取り組みべき
問 確実で質の高い公共サービスや公共工事を継続的に実施したり、労働者の生活を守るためにも公契約条例が必要ではないか。
答 労働者の適正な賃金水準や労働条件確保は、労働関係法令に基づき当事者間で適切に処理すべきであり、全国一律に取り組みべきものと考ええる。

無所属
小原 健一



▲町内外に町をPRするきつずなホール

障がい者への配慮見直しとは

角田理事 **A** 要配慮者支援として見直したい

問 障害者差別解消法施行を受け、障がい者への合理的配慮の見直しで必要な内容とはなにか。
答 要配慮者支援として計画などの中に規定しているが、法の趣旨に沿った内容かどうかを精査し、必要に応じ見直していきたい。
問 災害発生時の障がい者への情報伝達の方法と到達予想割合は。
答 防災無線や公共放送、インターネットや広報車の巡回などがあるが、確実に伝達するには個別計

画が重要である。予想割合は算出できていない。
問 町内6カ所の小中学校と播磨・蓮池幼稚園で空き教室の利用や防災倉庫の新設を計画中だが、工期短縮の考えは。また、福祉避難所の備蓄状況は。
答 早期の整備を目指したい。福祉避難所の備蓄状況は、各コミセンにクラーカーや簡易トイレ、救急箱を備えている。食料備蓄は、消防播磨分署倉庫と西小に整備しており、今年度は土山駅南ガードンプラザと蓮池小にも整備する予定である。
漫水想定区域の見直しは
角田 理事 県の動向をみて検討
問 国交省が加古川水系に浸水想定区域を公表したが、町の今後の対応は。
答 喜瀬川・水田川は、県が浸水想定をしている。防災マップの浸水想定区域の見直しなどは、県の動向をみて検討する。
その他の質問
▼防災アプリ「みたちヨ」の普及啓発は



無所属
山本 雅之



▲加古川万歳橋下流の瀬

角田 理事